

令和4年度 杵束まちづくりセンターの主な取組

事業名

この夏『君が』『地域が』…変わる 事業

P

●事業実施に至った背景、目的

杵束まちづくりセンターを拠点に、人のつながりを取り戻すとともに、伝統文化を継承できるよう発表の場を準備できるような事業を企画・実施することとし、住民の負担感が少なくなるよう配慮することが課題となるので、有志による実行委員会方式とした。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・住民有志による実行委員会の立ち上げ(令和4年6月13日)
*メンバー: 弥栄のみらい創造会議、市民有志、まちづくりセンター職員、弥栄支所職員
- ・実行委員会の開催(令和4年6月~9月、計7回)
- ・事業実施(令和4年9月24日)

D

●事業の概要

- ① 日 時 令和4年9月24日(土) 17時~20時
- ② 場 所 杵束まちづくりセンター駐車場
- ③ 内 容
 - ・ステージイベント…石見神楽(杵束神楽社中)、「しまねっこ」と「やっぴー」
 - ・手持ち花火、打ち上げ花火、噴出花火の実施
*花火実施前に、消防職員より火の取扱いについて学習
 - ・露店出店…弥栄のみらい創造会議の各部会、地域住民等が運営
*射的、輪投げ、紐くじ、ヨーヨー釣り、モルック体験ほか
- ④ 来場者 親子連れ、町内住民、町外住民 約350名

C

●事業実施後の振り返り

- ①初めての開催だったが、町内外から想定80名を超える約350名が来場し、来場者アンケートでも今後も継続してほしいとの回答が多数。
- ②今年はコロナ禍の影響で飲食の露店は中止としたが、テイクアウトなど、何らかの形で提供できると良かった。
- ③路上や近隣施設の駐車場に停める車が見受けられたので、何らかの対策が必要。

A

●令和5年度以降の方向性

- ①初回であったこと、想定以上の来場者があったことから、人員確保・配置、花火実施上の安全確保など見直しが必要な項目が明らかになったので、対策を検討する。
- ②飲食について、次年度以降は状況に応じて、提供の手法も含めて検討する。
- ③駐車場について、案内看板増設やスタッフ増員を検討する。

